

※ 進捗状況は、令和7年10月1日時点になります。  
「◎:実施」は、制度化・事業化した取組を継続的に実施・推進しているものを含みます。

中川幹太公約一覧	進捗状況	
	◎:実施(継続中含む) ○:一部実施・着手済 ●:未着手	主な実施内容
1 各地域が主役の自治		
(1) 木田庁舎の一極集中から「地域分権」へ新しい自立した地域づくりを目指します。	○	・地域独自の予算事業の創設 ・地域自治の理想的な姿に基づく制度設計等
(2) 三年で異動ではなく、市職員が生きがいを持つ「専門性のある人事制度」に改革します。	◎	・人事改革の方針の策定 ・職員研修の拡充
(3) 総合事務所に「地域や地元のことがわかる市職員を配置」します。	◎	・人事改革の方針の策定 ・職員の自己申告の見直し
(4) 地域活性化のため「地域独自の予算」を立て、市長に提案します。地域分権を確立します。事業の結果はしっかり事業評価を行い、優れた地域をモデルにします。	◎	・地域独自の予算事業の創設 ・事業事例集の公表
(5) 「ものづくり高度化」のための支援制度をつくります。	◎	・ものづくり企業のDX人材育成等支援の創設、拡充
2 予約型コミュニティバスの普及		
(1) 高齢者、通学者等が安く利用できる「コミュニティバス」をつくります。	◎	・コミュニティバスの運行
3 子育て支援		
(1) 子育て全国一を目指します。	○	・子ども医療費無料化対象の拡大 ・養育費取決め支援 ・所得の少ない家庭の子どもへの学習や生活の支援 ・私立高等学校の学費助成額の拡充 ・学びの多様化学校の設置に向けた準備
(2) 緊急時、病気の子どもを、代理人が親に代わって保育園等から病院に連れて行ける制度をつくります。	◎	・病児保育の送迎対応 ・病児の預かり対応
(3) 産前産後のサポート制度をつくります。	◎	・産婦への健康診査の助成 ・訪問型産後ケア事業の実施
(4) 女性の社会参画バックアップ体制を強化します。	◎	・第4次男女共同参画基本計画の策定 ・女性創業の支援
(5) 保育料を県内で一番安くします。	○	・保育料の軽減
(6) 不妊不育治療費を国の保険適用まで全額無償にします。	◎	・不妊治療補助の拡充
(7) 大学、専門学校等の奨学金を給付します。	◎	・奨学金返還支援制度の創設

中川幹太公約一覧	進捗状況	
	◎:実施(継続中含む) ○:一部実施・着手済 ●:未着手	主な実施内容
4 高齢者支援		
(1) 健康で長生きできる「予防医療・予防介護の先進企業(ベンチャー)」を上越妙高駅周辺に誘致します。	○	・サテライトオフィスの誘致 ・オフィスビル建設の補助
(2) 特定健康診断の受診率を上げ、寝たきりを少なくし「介護保険料や健康保険料を安く」します。	○	・健康診査の受診勧奨強化
(3) 高齢者運転者のドライブレコーダー装着を補助します。	◎	・高齢者への安全運転支援装置設置補助の実施
5 危機防災管理と土木建設業		
(1) 災害、緊急対策は、「素早く分かりやすい対策」を打ちます。防災ラジオも活用します。	◎	・次期防災行政情報伝達システムの整備
(2) 災害級の豪雪時に、町内会等の除排雪費用を支援します。	◎	・市道除排雪作業報償金の制度化
(3) 「空き家物件」情報は素早くつかみネットやその他で情報発信し、早めの再利用を促します。	◎	・まちなか居住推進事業 ・空き家情報バンクの拡充 ・空き家定住促進利活用補助金等の拡充
(4) 繰り返し防災訓練を行い、災害から身を守る「応用力」が付きます。訓練をとおして、災害により避難場所・避難経路が違うことを確認します。	◎	・総合防災訓練、災害対策本部設置・運営訓練などの継続実施 ・津波避難計画の見直しと住民避難訓練の実施
(5) 景観の保全、環境に配慮した土木・建設整備を推進します。	◎	・景観アドバイザー制度や届出制度、景観色シートの周知による良好な景観への誘導
(6) 災害時(豪雪時等)に重機不足、運転手不足で対応できないため、地元の土木・建設業の維持確保、人手不足・高齢化に向けて人材の育成・確保を支援します。	○	・除雪オペレーターの担い手確保に向けた取組の実施
(7) 周辺の市町村と連携し災害・豪雪対策を行います。	◎	・災害時相互応援協定に基づく体制の整備
(8) 道路、橋等の老朽化を点検して「直して使う」新技術の導入を推進します。	◎	・デジタル技術等を活用した道路舗装、橋梁等の点検の効率化及び計画的な修繕工事の実施 ・下水道ストックマネジメント計画に基づく管路調査及び改築更新
(9) 地産品を購入してくれた都市住民が大災害時に上越市を避難先にできる「保険サービス」を提供します。	○	・先進地調査等の実施 ・都市と農村との地域間交流の促進
(10) 保倉川放水路及び儀明川ダムの早期完成を目指します。	◎	・まちづくり基本構想の作成 ・国において放水路のルートを明記した河川整備計画を変更
(11) 獣害対策として、電気柵設置の充実、猟友会の支援に力を尽くします。	◎	・イノシシ捕獲への支援の拡充 ・新規猟銃取得の支援 ・スマート捕獲の導入 ・ジビエ利活用の推進

中川幹太公約一覧	進捗状況	
	◎: 実施(継続中含む) ○: 一部実施・着手済 ●: 未着手	主な実施内容
<b>6 農林水産物の販売力強化</b>		
(1) 農林水産物を「自分で売っていく」ための、販売計画、経営力の強化・育成を行います。	◎	・農業者が行うマーケティング活動の支援拡充 ・棚田米の販売促進
(2) 「ふるさと納税」制度を活用し、返礼品による上越産品の需要を高めます。	◎	・ふるさと納税返礼品の拡充、PR強化
(3) 農林水産業の「後継者の確保と育成」を支援します。	◎	・経営継承コーディネーターの配置 ・新規就農者への機械導入経費等の補助
(4) ウッドショック(世界の材木不足)から、地元木材の利用を進めます。	◎	・森林の経営管理権集積計画の作成 ・計画的な森林整備の推進 ・上越市産木材の利用促進
<b>7 最先端のエネルギー制度</b>		
(1) 原発再稼働は運営会社の信頼なくして再稼働はあり得ません。	◎	・電力会社の適格性について厳格な審査を国へ要望
(2) 地震、風水害等他の災害と合わせ原発避難計画を立てます。	◎	・原子力災害に備えた屋内退避・避難計画の改定 ・概要版の全戸配布
(3) 原発に代わる再生可能エネルギー(太陽光発電、小水力、バイオマス、雪氷冷却熱等)を進めます。	○	・第4次環境基本計画、第2次地球温暖化対策実行計画の策定 ・公共施設への太陽光発電設置 ・新築(ZEH)住宅への太陽光設置補助
(4) 国のSDGs未来都市制度の導入に取り組みます。	○	・第7次総合計画にSDGsの取組を明記して推進
(5) 水素エネルギー、電気自動車の導入を進めます。	○	・公用車の電動化
(6) 直江津港エリアは、天然ガスを中心としたエネルギーの拠点にします。	◎	・直江津港港湾脱炭素化推進協議会への参画 ・直江津港脱炭素化推進計画に基づく取組の推進

中川幹太公約一覧	進捗状況	
	◎:実施(継続中含む) ○:一部実施・着手済 ●:未着手	主な実施内容
8 歴史文化を生かした「通年観光」へ！		
(1) 雪国文化の「雁木町家」「寺町」の町並みを整備・保存します。	◎	・景観づくり重点区域の指定(南本町三丁目の一部)、指定予定(大町五丁目) ・まちなか居住推進事業 ・通年観光計画の策定 ・浄興寺大門通り修景整備基本計画の策定
(2) 町家・古民家を整備し、観光資源として「通年観光」を実現します。	○	・通年観光計画の策定、取組推進
(3) 雁木やアーケードの店先を活用(貸す)して、チャレンジショップ、カフェの設置など街なかのにぎわい創出を支援します。	○	・通年観光計画の策定、取組推進
(4) 楽しめるまち直江津をつくります。えちごトキめき鉄道や軽便鉄道と連携して、「鉄道博物館」をつくります。水族博物館うみがたり、海岸線と海産物売り場、雁木町家から鉄道博物館へと直江津の街なか全体に「通年観光」を目指します。	○	・通年観光計画の策定 ・鉄道遺産群活用基本計画の策定
(5) 春日山城を上杉謙信公の聖地とし本格的な観光地に整備します。	○	・通年観光計画の策定 ・観光コンテンツ計画等の策定
9 その他		
(1) 副市長を4人制にします。	●	
(2) 市長直轄の政策諮問委員を設置します。	●	
(3) 東京事務所を設置します。	◎	・新潟県東京事務所への職員派遣 ・都内コワーキングスペースを活用した首都圏における魅力発信、ネットワークづくり